

公表

事業所における自己評価表

事業所名		デイホーム土屋たいわ		公表日		2025年 2月1日	
		チェック項目		はい (従業員 3人中)	いいえ (従業員 3人中)	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	・共生型で、一日の定員が20名であるが、クールダウンできるお部屋（スヌーズレンルーム）を用意し、メインホールの他、活用できるお部屋が広く用意できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・共生型での人員は遵守できており、個性に対応できる人員を配置できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	・バリアフリーに対応している。 ・こどもの年齢に合わせた器具（トランポリン等）や走り回れるスペースの確保に配慮して環境を提供している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	・活動しやすいように配置を工夫している。 ・営業後毎日掃除を行っているため清潔な環境を提供している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・静養室が2つ、スヌーズレンルームが1つ、他仕切ることでもクールダウン出来る場所がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	・スタッフミーティングで話し合いができています。	・改善内容を話し合う場が設けられているため今後全体を取りまとめる役割作りを行っていくこととしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・年に一回の評価表の記入と公表はもちろんのこと、改善するために話し合いができています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・スタッフミーティングで話し合いができています。スタッフ一人一人が楽しく働ける環境を整えられるよう常に考えている。 ・職員の不満に傾聴し、解消することの他にもよかったことを些細なことでも出す環境作りをアプローチャしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		・第三者評価は行っていませんが、今後は外部評価をお願いしたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・ウェルビーイングという動画視聴システムにより、研修を行っている。他、利用者に合わせた必要研修を随時開催している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	・支援プログラムを作成し、公表した。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	・保護者の面談を行い、こどもと保護者のニーズを把握するように努めている。 ・タイムリーな保護者の意見も随時記録を残し計画に活かしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・児童発達支援管理責任者が計画を作り、それをもとに話し合いができています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・計画書を職員間に共有できている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	3	・アセスメントシートへはきちんと記入し、活用されている。	・アセスメントシートが日々の行動観察をあまり反映されていないように思うので、見直したい。 ・個々によって行動観察等共有出来ているところもあるが、統一した対応が出来ていないところも散見されるため今後アセスメント方法にブラッシュアップが必要。	

公表

事業所における自己評価表

事業所名	デイホーム土屋たいわ	公表日		2025年 2月1日	
	チェック項目	はい (従業員 3人中)	いいえ (従業員 3人中)	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な 支援の 提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	0	3		・「移行支援」及び「地域支援・地域連携」について、課題があると思われる。次年度に向けて工夫が必要。 ・「地域支援・地域連携」については放課後等デイサービスとしてはサービス開始からまだ日が浅いため少しずつ地域の方々との理解を深めていくながら広いつながりを構築していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0	3	・活動プログラムの立案については行っている。	・活動プログラムの立案については行っているが、全スタッフが意見を言える環境を整えていきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	2		・利用者一人一人にあった活動プログラムが中心で、固定化されてしまう利用者もいるため、工夫が必要。 ・個々によって柔軟なプログラムが提供されているものの全体的な観点から考えると改善が必要。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	・個別活動と集団活動を組み合わせた支援を心掛けている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	3	・朝、送迎などで顔を合わせられないスタッフもおり、チャットワークというシステムで情報共有している。	・時間の都合上朝ミーティングを行うことが困難であるため今後検討が必要。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	3	・チャットワークでの共有とスタッフミーティングの場で共有している。	・支援終了後は、送迎などの関係で、その日のうちの支援の振り返りが難しい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・日々の記録については、時間も記しながら記載している。 ・記録についてはICTも取り入れコミュニケーションツールを活用して随時情報共有を行っている。	
	23 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・月に1回モニタリングをしている。 ・必要に応じて随時見直しも行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	0	3		・児童によっては、創作活動への取り組みが難しい児童もいる。共生型としての地域交流はできているが、児童の利用時間での地域交流はなかなか難しいが、今後改善が必要と考えられる。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	0	3		・自己選択や自己決定の促しが難しいと感じているが、次年度に向けて改善していきたい。
関 係	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・児発管が出席している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	3		・連携先が限られているように感じるので、次年度は、連携先を広げていきたい。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	・支援学校と連絡とりあうことができている。	・送迎時間の相違が稀にみられるため大きな事故又はトラブルに発展しないようヒヤリハット等にスタッフ間での共有を強化している。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3		・相談支援事業所から児童発達支援事業所での過ごし方を共有いただくくらいなので、情報共有をもっと深めていきたい。

公表

事業所における自己評価表

事業所名		デイホーム土屋たいわ		公表日		2025年 2月1日		
係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	チェック項目		はい (従業員 3人中)	いいえ (従業員 3人中)	工夫している点	課題や改善すべき点		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3	0	・共生型ならではの、次年度は放デイ⇒生活介護へ続けてご利用希望者がいるので、継続して支援していきたい。		
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		0	3		・児童発達支援センターとの連携はないので、今後していきたい。		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		0	3	・避難先になっているふれあいセンターに児童館が併設されており、児童館にはよく行く。共生型なので、他の大人や卒業生との交流が持てている。	・避難先になっているふれあいセンターに児童館が併設されており、児童館にはよく行くが、その時に他の子どもと活動するような機会はない。		
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		3	0	・富谷市・黒川地域自立支援協議会に参加している。			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		3	0	・送迎時やお電話などでデイでの過ごし方を伝えるようにしている。 ・連絡帳にもご家族からの申し送りや意見に対して迅速にレスポンスし利用中の様子も細かく記載することを日々心掛けている。			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	0	・「福祉サービスを知らう」という研修を行い、介護保険、障害福祉サービスについて紹介した。			
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		1	2	・運営規程や利用者に係る説明は必要に応じて随時対応しており、不安がないよう細かく親身に説明を行っている。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		3	0	・ご家族の意見やこどもの行動・発言の状況によって安心、安全且つ楽しく利用できる提供するため必要時面談や電話又は訪問し意見、意向確認を行っている。	・支援プログラムについてはこれから行っていく予定。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		3	0	・計画に沿ってご家族に説明・同意をいただいている。また計画に対して保護者からの意見があった場合は適宜修正し保護者より同意をいただいている。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		3	0	・面談や必要に応じて家庭訪問を行っている。 ・送迎時や連絡帳にも相談があった場合はスタッフにもフィードバックしご家族との情報共有を行っている。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		0	3		・今後父母の会を検討していきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		3	0	・現在苦情はないが、苦情窓口を設置している。 ・クレームに近い相談や指摘があった際は即時ご家族と面談を行い(状況によって電話対応)少しでも不満が取り除けるよう対応している。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3	0	・ブログやX、グーグルマップでの活動の発信を行っている。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		3	0	・契約時個人情報取り扱いについて説明し了承、同意をいただいている。また必要時は掲載同意書に必ず同意をいただいている。		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		3	0	・子どもの特性に応じて、前日のうちにわかりやすいスケジュールを書いて渡したり工夫している。			

公表

事業所における自己評価表

事業所名	デイホーム土屋たいわ		公表日		2025年 2月1日
	チェック項目	はい (従業員 3人中)	いいえ (従業員 3人中)	工夫している点	課題や改善すべき点
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	・地域の区長さん、民生委員さんと協力して、デイの場所を開放し、イベントを開催している。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・それぞれマニュアルを作成している。また、防災用LINEを開放している。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・BCPを作成し、避難訓練、机上訓練を行っている。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・服薬やてんかんの状況など連絡帳を中心に家族とやり取りをしている。 ・情報、情報内容が全スタッフに随時確認してもらえるようスタッフが閲覧できる場所に情報を掲示している。	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	・食物アレルギーの対応については、対応できている。 ・情報、情報内容が全スタッフに随時確認してもらえるようスタッフが閲覧できる場所に情報を掲示している。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・安全計画を作成し、訓練を実施している。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	・個別避難計画の記載、防災LINEへの招待などを通じて、家族との連携を図っている。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・リスクマネジメント委員会にて共有、再発防止につけて対策が話し合われている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・虐待・身体拘束委員会での研修の他、ウェルビーイングにて研修ができています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	3	・今まで身体拘束を行った事例はない。今後、そういった事例があった場合には、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していく。	

非常時等の対応